

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 総合的な防災対策と危機管理体制の充実	② 施策番号	5101
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 防災対策の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	道路課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	防災対策及び危機管理体制
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	災害や事故に対する被害を最小限にとどめられるよう充実を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	全国的な異常気象による集中豪雨の発生や突発的な自然現象による被害が増加している状況であり、より一層の防災体制の強化を図る必要があり又対策が図られていくであろう。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 出勤率 計算式: 活動日数 / 警戒体制配備日数	%	防災体制が必要な事象・現象の発生した時の対応状況により市の対応力がわかる。
② 計算式:		
③ 計算式:		

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
①	出勤率	%	目標値	3	4	10	—	—	
			実績値	3	4	10	—	—	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	水防事業	活動日数	日	4	10	—	4,157	4,691	4,732	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						4,157	4,691	4,732			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市や自主防災組織の危機管理体制を充実することは、防災対策の充実を図る事となる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	適正に配備体制がとられている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	自然災害においては、備えられるものと備えられないものがあるので、有事の際に備え地域防災組織の結成、個々の行動訓練が必要である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	水防事業を含め、市民への広報・周知活動を通じた行動訓練等の施策との統合。(別部署
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	いち早く対応し、被害を防ぐため必要である。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	防災体制の編成等を一部だけではなく泉南市全体で確立する必要があると考える。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	災害規模に応じた防災体制を確立する為にも、一部署だけではなく市全体で編成する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	市民共同防災訓練の実施。(各地区ごと)
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	市民共同防災訓練の実施。(全市的に)

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	最近の異常気象による集中豪雨等への防災対応が適切に実施されている。 総合的な体制の構築に当たっては、関係機関との検討を進められたい。	